



シンボルフラワー＝白百合

広報

つだの里

「法人理念」
安らぎのある生活
その人がその人らしく
地域と共に

No.25

2024年 6月 発行



風薫る新緑を満喫

五月晴れに恵まれた5月2日、八雲の鯉のぼり見物に出かけました。河原に吹く風に乗って泳ぐ鯉のぼりに、入居者様は時間を忘れて見入っておられました。コロナ禍、外出や季節を肌で感じる機会がなかった皆さんは、全身で鯉のぼり外出を満喫されていました。

- P 1 . . . 表紙 (鯉のぼり外出)
- P 2 . . . 今年度の主な事業計画
- P 3 . . . 在宅改修工事完工
- P 4 . . . 入居者様の笑顔スナップ

今年も、津田の里にツバメがやって来ましたが、写真では分かり難いかもしれませんが、ある日、巢の中央付近に穴が開きました。よく見ると、スズメが顔をのぞかせています。でも、ツバメも出入りしています。さて、どっちの巣なのでしょう？



どっちのお家？



外出 面会

趣味活動



面会、母の日に合わせてカーネーションをプレゼント



コールブルー（合唱）さんと一緒に記念撮影。少し緊張気味？

多くの笑顔と笑い声

規制緩和に伴い、ご家族様の面会や外出、ボランティア活動の再開に伴い趣味活動等、入居者様の楽しみの時間が増え、笑顔や笑い声が沢山見られたり聞かれたりするようになりました。

最近の外出や面会、趣味活動を通じて入居者様の笑顔を紹介します。



まり絵クラブ、素敵な仕上がりに満面の笑



花見外出、ご家族様と一緒に春を満喫



う～ん、今年のタケノコの出来具合は・・・



習字クラブ、一筆一筆に心を込めて



面会に合わせて、ご家族様が散髪。気持ち良さもひとしおです



五月晴れのもと、鯉のぼり外出。満面の笑みが素敵です



ハンドマッサージ、とても気持ちよさそうですね

お問い合わせ

社会福祉法人 松豊会
特別養護老人ホーム

津田の里



TEL 28-1950
FAX 27-1950

より一層 寄り添った支援を

令和六年度、各部署の事業計画がスタートしました。本館はグループを再編成し、新館は社会資源の活用を重点に、より一層入居者様、入所様に寄り添った支援を目指してまいります。

本館

これまで東西に分けてケアを行ってききましたが、よりご入居者様、ご入所様の近くできめ細やかなケアを目指して西・中央・東の3グループに分けた支援体制としました。

併せて、ご家族様やボランティア様の協力も得、さらに改修工事によって、今年度中にはトイレの改修や食事スペースの増設、居室の模様替え等により、さらに生活の質（QOL）の向上が図られるよう支援を行います。

3グループに編成

三グループに編成し、グループの職員も一目で分かるようにしました



ご家族様との外出は、さらに楽しさが増します

新館

外出支援 ご家族様と一緒に



外出は、季節を肌で感じて頂いたり、お好きな場所や物を見たりと、大変喜ばれる支援の一つです。ご家族様と一緒に、笑顔が共有できる時間を作りたいと思います

理念に掲げています「その人がそのひとらしく」。入居者様に、少しでも楽しく穏やかな生活を送って頂くために、ご家族様の協力は欠かせません。

規制緩和に伴い、今年度は社会参加の機会を増やしていく計画です。

それに伴い外出支援時、ご家族様にも外出に同行頂き、共に過ごす時間を通じて、楽しみのある外出を支援していきたいと考えています。



地元食材への愛着と兵道湖への愛情を深めてくださいと、兵道湖漁業協同組合様と兵道湖シシシ漁業組合様からシシミを寄贈頂きました。入居者様は早速、地元の味に舌鼓を打たれていました



「みずうみ赤十字奉仕団」の皆様から、ウエスを寄贈頂きました

「くびき学園書道クラブ」の皆様から、ウエスを寄贈頂きました



大勢の方から ご寄贈頂きました

津田の里は、大勢の皆様からのご支援によって入居者様、入所者様の生活がより豊かになっています。福祉が目指す地域で支え合い、ともに豊かな生活を送るためにも、地域に根差した拠点でありたいと考えています。ご寄贈頂いた皆様には、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

地域の活動拠点として

在宅改修工事完工

地域の活動拠点として、また各種の会議・研修室としての活用を目的に昨年度から在宅の改修工事を行ってまいりましたが今年三月、デイホールを除いて工事が終了しました。
早速、法人内の会議や研修会はもとより、地域の会議等に活用して頂いていきます。デイホールも、今年度中には完工する予定です。
さらに今年度、本館の各居室やトイレ等の改修工事に着工し、今年度末に完工予定です。



少人数での、会議や茶話会の会場としても使用頂けます



会議室や研修室、各教室等としても活用頂けます

地域の課題や施設活用を協議

～第1回 地域連携委員会開催～

六月十四日、コロナ禍で中止していた地域連携委員会を再開しました。この取り組みは、地域の皆さんと一緒に、それぞれが抱える課題に協働して取り組むことを目的に設けた委員会です。委員は明神住宅自治会、明神さわやか会、津田地区民生児童委員、市社協、法人内各部署の委員で構成。当日は、現状と課題について代表の方から説明があり、併せて津田の里の改修工事の完工に伴い、その活用について協議を行いました。取り組みが出来ることから、早速実施していくことになりました。



委員会を通じて、地域と法人が交流を深めながら地域貢献事業に取り組んでいます



居宅介護支援センター、訪問介護事業所も改修工事を行いました

本館の改修工事にも着工しています



面会室



身障者用トイレ、新たに二基設置しました